

インタビュー

現場を巡る

連載

業界ニュース

工法・材料ライブラリー

2022年初頭から販売を開始 5年後に20億円の売上を目指す

日建リース工業・スカイマティクス クラウド型ドローン測量サービスの販売パートナー契約を締結

NEW



公開日：2022.10.04

ツイート

Share 0

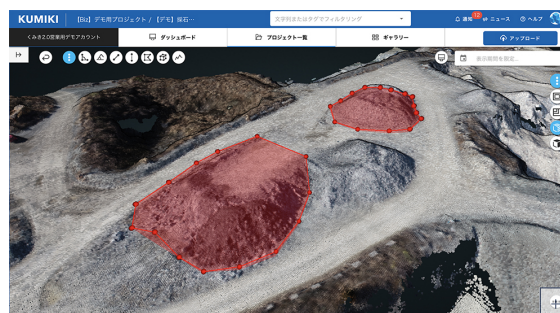
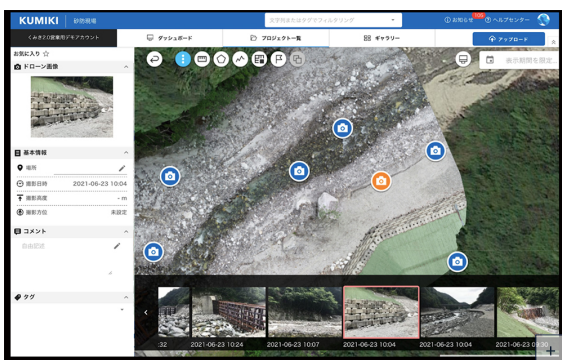
LINEで送る

日建リース工業（関山正勝社長）は4日、クラウド型ドローン測量サービス「KUMIKI（くみき）」を提供するスカイマティクス（渡邊善太郎社長）と同サービスの販売パートナー契約を締結した。

同サービスは、ドローンで撮影した画像をクラウド上にアップロードするだけで、オルソ画像（対象物の大きさや位置を正しく配置した画像）や3D点群データなどの地形データを自動生成し、通常のPCでの簡単な操作で距離・体積・断面などの計測ができる。このため、「現場に行かなくてもウェブ上で測量ができる」（渡邊社長）ものとなっている。日建リース工業では2023年初頭から販売を開始し、約100人の営業担当により同サービスの普及を図り、5年後には20億円の売上を目指す。販売後のサポートもスカイマティクスとともにっていく。

KUMIKIは2017年に国産初のクラウド型ドローン測量サービスとして提供が開始されて以来、約700の民間企業や官公庁、地方自治体で採用され、これまで作成された地形データの面積は「東京ドーム換算で2万個以上」（渡邊社長）となる実績を有している。とくに、この1年間では建設業界での利用が増加しているという。土木分野では、盛土・切土の施工進捗管理に活用されることが多く、地方建設会社の事例では土量計算の工数を最大9人/日から1人/30分に大幅削減した。ゼネコンだけでなく、地方の建設業者にとっても使いやすく、効果が得やすいサービスといえる。

契約締結後の会見で日建リース工業の関山社長は、本サービスを「建設DXに大きく貢献でき、BIM/CIMの推進にも役立つサービス」と評価したうえで、「当社の営業力によって現場のニーズをスカイマティクスにフィードバックできればKUMIKIを“ダイヤモンド”に磨き上げることができ、同社の発展にもつながる」と期待を寄せた。また、「（日建リース工業はハウスやオフィス用品、建設資機材など）有形固定資産をレンタルする会社であるが、今後は（サービスなどの）無形固定資産も扱う会社に移行していく」と抱負を語った。



「KUMIKI」の機能。画像・動画データ管理機能（左）／計測機能（3D点群データ）（右）



時系列比較機能



日建リース工業・関山正勝社長（左）とスカイマティクス・渡邊善太郎社長（右）

お問い合わせ

当サイト・弊社に関するお問い合わせ、
また更新メール登録会員のお申し込みも下記フォームよりお願い致します

お問い合わせフォーム

株式会社 鋼構造出版

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5F
TEL 03-5642-7011（代）
FAX 03-5642-7077

- [> インタビュー](#)
- [> 現場を巡る](#)
- [> 連載](#)
- [> 業界ニュース](#)
- [> 工法・材料ライブラリー](#)
- [> サイトコンセプト](#)
- [> ご広告料金について](#)
- [> お問い合わせ](#)
- [> 利用規約](#)